

仙人通信 210 湯船山(1040m)・白クラノ頭(978m)

明神山・湯船山・白くらの頭は、富士 5 合目→籠坂峠→三国山(仙通 196)→不老山(仙通 193)→足柄峠→金時山(仙通 7)の富士箱根トレイルコース(43 km)の山脈に位置し、神奈川と静岡の県境の山である。

小山町と山中湖を結ぶ県道 147 号の明神峠の先にある 2 台ほど駐車のできるスペースに車を置き、明神峠から 3 山を通り世附峠の手前の峰坂峠までをピストンする計画とした。

明神峠は T 字路となっており、バス停の東側にある階段からのスタートだ。

県道を眼下に見て進むコースで、北側はたいツガの林で視界は利かないも、南側は愛鷹山から太陽の光で輝く駿河湾・そして箱根・伊豆の山々が一望できる。

5 分程で諏訪湖方面に正面を向いた小さい石の祠の諏訪明神奥社である。更に進むと、欣求(ゴング)ベンチと書かれた休憩ポイントだ。欣求とは、調べましたら仏教用語で(喜んで仏の道を願い求めること)とありました。土地がらもあり家康公が旗印にした欣求浄土からの引用のようだ。歩き始めてから 25 分程で最初のピークで標記が無いが、送電線も頭上にある事から、明神山のようだ。ここからはブナを主体とした 360° 落葉樹林となり、菰釣山を左手に畦ヶ丸や丹沢山塊・右手には箱根から愛鷹山が梢越しではあるが望めた・・・・。

ピークを更に越して 15 分程で、本日の最高峰である湯船山である。三国山を抱えた富士山であるが、梢越しで残念だ・。緩やかな尾根コースで一つのピークを越えて、13 分で白クラノ頭だ。ここまで来ると、流石にスピードウエーの騒音も無くなり、小鳥の鳴き声や足元の霜柱を踏む音が聞こえて嬉しい。目の前に不老山を見ながらの下りのコースである。直ぐにロープの張られた階段状の 100m 程の下りを、木葉に埋もれたステップを慎重に 10 分近く掛けて進んだ。かつて南面は、30 cm 程の幹の檜等の針葉樹林であったようだが全面伐採され、小山町の先に箱根の峰々が望めた。沢頭で 1m 程の尾根道もあったが、白クラノ頭から 35 分で峰坂峠だ。峠に置かれたベンチは、檜等の林の中の為、苔むして座るのを躊躇った。小休止した後、辿って来た尾根道を梢越しの山脈を眺めながら、のんびりと明神峠に戻った 4 時間 15 分 (19000 歩) の山旅でした。

(R2.12. 22)

登山口



湯船山



山頂からの富士山



白クラノ頭



南面の展望



ブナの巨木

